

創作能

ユン・ドンジュ
尹東柱

— 韓国国民詩人 —

むなかたくによし
宗片邦義作

(2021.2.14 母の命日に) ©

「構想」 韓国の青年が訪日し、韓国で国民詩人とされる尹東柱^{ゆんとんじゆ}について日本の友人に語り、共にその縁^{ゆかり}の地を訪ねる。(前場)

その夜、尹東柱の霊が現れる。(後場)

(制作キープoint… 能形式にこだわらず、初めて能を見る観客にも分かり易い詞章・演出)

時… 現代

所… 東京

曲柄… 夢幻能 (所要時間… 五五分)

人物（登場順二）

ワキ・・・韓国青年

ワキツレ・韓国青年の日本の友人（表記、ツレ）

シテ・・・尹東柱の霊

地謡（三、四名）・囃子（笛・小鼓・大鼓）

尺八（明暗流一名）

前場まえば

「囃子ナシデ、ワキツツレ登場」

次第・ヨワ吟
地

「悲しむ者は幸ひと。悲しむ者は幸ひと詠みし詩人の跡訪はんあとと

詩（イ）
ワキ

「これは韓国よりの、旅行者なり。われこの度は日本の、友人を誘ひさそ。わが韓国の国民詩人、尹東柱ゆんどんじゆ。縁ゆかりの地を訪ねようと、存じます。「さて尹東柱を、ご存知ある

や

ツレ
「尹ゆん、東柱どんじゆとや。いつの時代の、人なるや

ワキ
「日本が米英中国などと、戦争中の。千九百三十年、四十年代。彼が在日せるは昭和十七年より、二十年の二月まで

